

# 科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	総合英語					学期	曜日	校時
英語名	Comprehensive English							
担当 教員名	橋本 高明	単位数	1 単位	必修 選択	必修	後期	金曜日	2 校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>この授業を履修し、合格点を取得するために、履修者が最低限習得しなくてはならない技能は、以下に示す言語技能について、担当教員の評価で60%以上適切と評定される水準の言語技能である。</p> <p>1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。                  2) 英語文構成素の文法的役や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。                  3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。</p> <p>各週の授業では、社会問題や自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を行う。履修者は各週の記事、練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業にのぞむこと。宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業にはかならず辞書（英和または英英）教科書、筆記具を持参すること。</p>								
テキスト、教材等								
<p>テキスト： Nakata, Shigeru and Joseph Benson. <i>VOA &amp; Grammar</i>. Tokyo: Nan'un-do, 1991.                  参考書： 小野経男『チャート式新英文法』東京：数研出版，1990。                  豊永彰『英文法ビフォー＆アフター』東京：南雲堂，2003。                  辞書： Ohbunsha's Comprehensive English-Japanese Dictionary. Tokyo: Ohbunsha, 1999.</p>								
対象学生	成績評価の方法					教員研究室		
2 E F	<p>技能(1)-(3)を2回の筆記試験および授業発表で評定し、各技能につき筆記試験（2回平均）評定を最終評定の80%、授業発表評定を最終評定の20%とする。宿題・提出物がある場合には、前述の筆記試験と授業発表の評定を最終評定の80%とし、宿題・提出物の評定を最終評定の20%とする。履修規定により、正当な理由なく5回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。正当な理由のない欠席については、その回の発表評定を0とする。</p>							
授業計画								
<p>第 1 週：授業の内容・方法の説明、penmanship・文法プリテスト                  第 2 週：Unit 1: Apple Polisher                  第 3 週：Unit 3: "Boomerang" Children                  第 4 週：Unit 4: Television and Violence                  第 5 週：Unit 7: Earth Day                  第 6 週：Unit 8: Yard Sale                  第 7 週：Unit 9: Xerography                  第 8 週：復習 1、中間試験                  第 9 週：Unit 10: Jobs for College Students                  第 10 週：Unit 12: Behind the Music Awards                  第 11 週：Unit 14: Credit Cards                  第 12 週：Unit 17: Dangers of Space Junk                  第 13 週：Unit 18: Keeping up with the Joneses                  第 14 週：Unit 19: Computer Viruses, 復習 2                  第 15 週：定期試験（定期試験期間）</p> <p>オフィスアワー（質問受け付け時間）：                  面談希望者は授業校時の直前または直後に前もって申し出て面談時間の了解をとること。</p>								